

医療安全教育セミナー(実践編)2022

-- 医療安全管理研修会 --

-- 医療安全文化の推進 --

会期: 2022年2月16日(水)~2月18日(金)

会場: オンライン講演会

(主催) 国際医療リスクマネジメント学会
(後援) 医療安全推進機構、日本医療安全学会

(受講対象者) 国際医療リスクマネジメント学会の会員、日本医療安全学会の会員、医療施設経営者、専従医療安全管理者、専任医療安全管理者、歯科医療安全管理者、リスクマネージャー、医薬品安全管理者、医療機器安全管理者、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、歯科衛生士、臨床工学技士、放射線技師、臨床検査技師、法関係者、医療事務関係者、医療産業界関係者、その他

(趣旨) 医療安全に関する基本知識を習得します。なお、本プログラムは、厚生労働省の診療報酬改定による「医療安全対策」として診療報酬申請に加算する際に、加算の対象となる2021年度ないし2022年度の研修教科内容(年間40時間以上)の1部にもなります。

また、学会認定「高度医療安全管理者」資格制度の必須科目でもあります。

参加者には受講終了書を発行します。

3日間のコース授業です。3日間参加者のみ受講可能です。

本プログラムは「医療安全対策対策加算1」ならびに「医療安全対策対策加算2」における研修会に該当します。

2022年2月16日(水) 午前9時~午後5時

午前10時~午前10時50分	医療安全活動のIT化とその課題	酒井亮二(国際医療リスクマネジメント学会理事長)
午前11時~午前12時	院内ラウンドの上手な進め方	田畑雅央(東北大学医療安全推進室室長)
午後1時~午後1時50分	医療安全管理体制のスリム化の方法	梁善光(帝京大学ちば総合医療センター副院長、教授)
午後2時~午後2時50分	医療安全推進者のチームリーダーとしての課題	酒井亮二(国際医療リスクマネジメント学会理事長)
午後3時~午後3時50分	医療安全におけるチーム医療の円滑化の方法	水本一弘(和歌山医科大学医療安全推進部教授)
午後4時~午後5時	医療安全のための患者相談の上手な進め方	安心院康彦(帝京大学医療安全管理部教授)

2022年2月17日(木) 午前9時~午後5時30分

午前9時~午前9時40分	医療安全におけるヒューマンファクターの現状と課題	福田幾夫(大阪大学重症下肢虚血治療学講座招聘教授)
午前9時50分~午前10時30分	ヒューマンファクターズからみた医療機器安全の現状と課題	田仲浩平(東京工科大学臨床工学教授)
午前10時40分~午前11時20分	医療機器の安全性に関する問題点	許俊鋭(東京都健康長寿医療センター・センター長、元東大病院教授)
午前11時~午前12時	医薬品の安全性研究のあり方	清野敏一(帝京平成大学薬学部教授、東大病院前副薬剤部長)
午後1時~午後1時50分	医療事故の物的要因について	寛淳夫(工学院大学建築学部教授)
午後2時~午後3時20分	医療機器の安全性研究のあり方	土井研人(東大病院医療機器安全管理部部長、救急科学科教授)
午後3時30分~午後4時20分	人の認知とヒューマンエラー	下田宏(京都大学工学系大学院ヒューマンファクター分野教授)
午後4時30分~午後5時30分	機械操作におけるヒューマンエラーとその対策の基本	下田宏(同上)

2022年2月18日(金) 午前9時~午後4時30分

午前9時~午前12時	(シンポジウム I) 新型コロナウイルスパンデミックから見た医療情報の現状と課題	四柳 宏 (東大) / 河内 正治 (帝京大学) / 辻本 広紀 (防衛医科大学) / 栗原 慎太郎 (長崎大学) / 手塚 則明 (東北医科薬科大学)
午後1時~午後2時50分	(シンポジウム II) 医療事故における情報問題とは何か	鳥谷部 真一 (新潟大学) / 辰元 宗人 (獨協医科大学) / 近本 亮 (熊本大学) / 新村 美佐香 (菊名記念病院) / 三上 久美子 (横浜市立みなと赤十字病院)
午後3時~午後4時30分	医薬品情報のあり方 — 患者、家族の立場から	勝村久司 (患者の立場で医療安全を考える連絡協議会世話人)

参加申込締め切り: 2022年2月9日(水)

定数(500名)

参加費は下記ホームページに掲載した申込書をご覧ください。

担当事務局

国際医療リスクマネジメント学会
第1オフィス
〒113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102
(Tel/Fax) 03-3817-6770
(電子メール) head.office01@iarmm.org

セミナーホームページ: <http://www.iarmm.org/J/PS2022Feb/>